

金州民政支署

本期間當支署ニ於ケル諸般政務施行ノ成績及管轄區域内一般ノ情况ヲ舉レハ左ノ如シ

兵事 本期ニ於ケル在郷軍人ノ異動左ノ如シ

月別	將校	相當官	准士官	下士	兵卒	計	摘要
十月	三	二	三	三四	一二七	一六九	現在
十一月	一	一	一	七	二七	三六	十月下旬に於て、本署に在籍する兵卒の一部が、郷里に帰郷したため、人数が減少した。
十二月	二	一	三	二七	八七	一一二	十一月下旬に於て、本署に在籍する兵卒の一部が、郷里に帰郷したため、人数が減少した。

學事 本期間ニ於ケル教育状態ハ極メテ良好ニシテ日ニ月ニ進歩ノ境域ニ向ヘリ以下頃ヲ逐テ其概況ヲ説述セム

金州尋常高等小學校

本地由来偏僻ニシテ日本人少ク為ニ子弟ノ精神教育上ニ困テ遺憾トスル所少カラサリシカ十一月二日畏クモ  
 兩陛下御真影御下賜ノ榮ニ接スルヲ得タルハ是ニ感激措ク能ハサル所ナリ思フニ  
 當校ハ清國人子弟ト邦人子弟ト同一校舎ニ収容シアルカ故ニ其感化ノ及ホス所獨リ邦人ノミニアラサルヲ以テ拜戴式舉行ノ如キ其他規定ノ拜賀式ノ如キ極メテ森嚴ニ之ヲ行ヒシ結果獨リ子弟ノ之ヲス父兄ニ對シテモ亦偉大ノ感化ヲ與ヘタリ

福東都督署

公學堂南金書院

本期間ニ於ケル生徒入退學ノ重ナルモノハ十月ニ於ケル女生徒四十名ノ入學ト翌十一月男生徒四十一名ノ退學トニシテ前者ハ女子部新設ノ為メ臨時入學ヲ許セシ由ル後者ハ欠席數月ニ涉リ再ニ出席ノ見込ナキモノニ對シ學堂規則第二十七條第二項ノ手續ヲナシタルニ因ル其異動及出席者ノ歩合左ノ如シ

月別	學生徒數	退學生徒數	在席生徒數	出席百分	插	要
十月	四〇	二九〇	六七一七			
十一月	七	四一	二五六	七六九七		
十二月			二五六	五二〇三		

女子部開設ノ情況 從來當地方ニ於テハ女子ノ才ナキハ是レ徳ナリト云ヘル一種ノ俗諺アリテ女子ノ教育ハ却テ女徳ヲ墮ルモノト誤解シ女子ニ對シテ何等ノ機關ナク從テ金州城内數千ノ女子目一丁字ナク唯男子ノ附屬物視セラレ、狀態ニアリキ當署夙ニ此ノ陋習ヲ一變セムコトヲ欲シ或ハ紳士紳商ニ對シ或ハ集會席上ニ於テ女子就學ノ鼓吹ニ勗メ一部ノ識者亦漸ク此ニ留意スルニ至リシヲ以テ女子部設置ノコトニ決シ即チ本期ニ於テ開設ニ着手セリ然レトモ經費裕ナク又隨テ設備未タ完カラサリシヲ以テ一時多數ノ入學

志願者ヲ收容シ得サルコトヲ慮リ當初其  
定員ヲ二十名トセシカ開設期ニ至リ志願  
者續出シテ四十六名ノ多数ヲ見ルニ至レ  
リ是ヲ以テ定員ヲ變更シ四十名ヲ選抜シ  
テ入學ヲ許可シ十月二十八日ヲ以テ之カ  
授業ヲ開始セリ是ヨリ先キ最モ困難ナリ  
シハ支那女教員其人ヲ得ルノ一事ニ在リ  
キ蓋シ女子ノ教育皆毎ナル金州城内ニ在  
リテハ勿論他ニ於テモ殆ヒト之ヲ得ヘキ  
見込ナク且ツ之ヲ男教師ニ委センカ父兄  
ノ擇ハサル事情等アリ之カ為メ百方搜索  
ノ末旅順龍口村ナル周素一及本邦人榎井  
芳子ヲ採用スル事トセリ幸ニシテ周素一

明東都督府

ノ操行端正ナル榎井芳子ノ清語ニ熟達シ  
職務ニ慣レ能ク世道ニ通セルト秋永教諭  
ノ女子部主任職務タルトハ一般父兄ノ信  
頼スル所トナリ一名ノ退學アレハ教名ノ  
老願者ノ見ルノ好成绩ヲ呈セリ而シテ其  
修學情況ニ就テハ纏足歩行ノ艱難ナルニ  
拍ハラス尚能ク風雪ヲ冒シテ昇降スルノ  
状真ニ可憐ニ屬ス是等ノ生徒ハ各學課ニ  
對シテ趣味ヲ有シ殊ニ造花編物等技藝ノ  
進歩頗ル見ルハキモノアリ而シテ書房教  
育ノ如ク忌感化ヲ受ケルコトナク能ク規  
律ヲ守リ女子ノ通弊タル精疑排斥等ノ舉  
動ナク行動極メテ靜肅ナリ

操行端正ナル 榎井芳子ノ清語ニ熟達シ  
 職務ニ慣レ能ク世故ニ通セルト秋永教諭  
 ノ女子部主任並務タルトハ一般父兄ノ信  
 頼スル所トナリ一名ノ退學アレハ教名ノ  
 志願者ヲ見ルノ好成绩ヲ呈セリ而シテ其  
 修學情況ニ就テハ纏足歩行ノ艱難ナルニ  
 拘ハラス尚能ク風雪ヲ冒シテ昇降スルノ  
 状真ニ可憐ニ屬ス是等ノ生徒ハ各學課ニ  
 對シテ趣味ヲ有シ殊ニ造花編物等技藝ノ  
 進歩頗ル見ルヘキモノアリ而シテ書房教  
 育ノ如ク惡感化ヲ受クルコトナク能ク規  
 律ヲ守リ女子ノ通弊タル猜疑排斥等ノ舉  
 動ナク行動極メテ靜肅ナリ

第一分教室開設 生徒漸次増加セシ為人  
 本書院教室ノ之ニテハ狹隘ヲ告ケ一學年  
 ノ如キ九十餘名ヲ一教室ニ於テ教授セサ  
 ルヘカラサル狀況ナリシヲ以テ分教室新  
 設ノ計劃ヲ建テ金州城内第三區官有家屋  
 ヲ以テ之ニ充テタレトモ家屋ノ破壊甚シ  
 ク到底既定ノ修繕費ノ之ニテハ之ヲ修理  
 シ能ハサルヲ以テ地方清國人ヨリ寄附金  
 二千八百圓ヲ募集シ大修繕ヲ加ヘ十一月  
 四日ヲ以テ一學年生全部ヲ此ニ移シ二學  
 級ニ編成シテ教授スルコトハセリ之ヲ担  
 任ハ日本人一名清國人一名トス

總子窩公學堂

總子窩公學堂設置以來清國人漸ク舊書房  
 教育ノ新教育ニ劣レルモノナルコトヲ  
 覺知シ入學志望者漸次多キヲ加ヘ本期ニ  
 入りテハ實ニ六十名ノ多キニ達シ尙ホ希  
 望者續出スト雖校舍ノ設置之ヲ容サ、ル  
 ヲ以テ今ヤ管内人民壹萬二千圓ノ巨資ヲ  
 授シ校舍新築ノ計劃ヲ立テ寄付ノ出願ヲ  
 爲スニ至レリ誠ニ喜コヘキ現象トス  
 統務 本期間ニ於ケル管内ノ狀況ハ前  
 年來引續ケル商取引不振ノ後ヲ承ケタ  
 ルヲ以テ自ら地方税ニ衰退ト緊縮トノ結  
 果ヲ来タルモ都督府ノ歲入ニ至テハ稍  
 發展ノ跡ヲ認メ得ヘシ本期十一月ハ地租

及舊慣ニ據ル土地貸下料ノ徵收期ニ當リ  
 前年度ト略々同額ノ賦課ヲ為シ法定納期  
 右旬日ヲ出スルテ完納ヲ見ルノ良成績ヲ  
 得タリ

四十二年ノ營業稅調査ハ十一月ヨリ着手  
 シ漸次調査方法ヲ完備セシメタルモ前期  
 以來一般商業ノ不振ナルト大連灣會外一  
 會大連民政署ニ分割セラレタル結果前年  
 度ニ比シ日本人六十五名稅額一千二百餘  
 圓清國人七十餘名稅額三千餘圓ノ減額ヲ  
 來セリ

鹽稅監視ハ前期ニ於テ日本人ノ監視員ヲ  
 配置セシ以來從前ノ清國人監視員ハ主ト  
 シテ鹽稅ノ領收廻送及帳簿ノ整理ヲ管掌  
 シ其餘力ヲ以テ検査監視ニ從事セシメ日  
 本人監視員ハ常時塩田ヲ巡視シ製塩量ヲ  
 調査シ移出塩ト現在在塩トノ數量ノ對照ヲ  
 為ス等監視ノ實ヲ擧クルニ努メシメタル  
 結果漸ク脱稅防止ノ緒ニ就クヲ得タルモ  
 尙ホ配置員不足ノ為ニ監視上遺憾ノ點尠  
 シトトセズ

本期間ニ於ケル官有財産ノ異動左ノ如シ

土地ノ部	六件	一五、四、八、八六坪 三、三、三、九六
大連民政署ニ引継	一件	只二五〇坪
貸下	一件	只二五〇坪
返納	四件	二六、〇〇坪

調査ノ結果表見	一件	二五〇〇坪
地目変換	一件	六畝
建物ノ部		
大連民政署引継	五十八件	一二三二坪三一〇
保管轉換	一件	一三四坪四三〇
修繕模様替	四件	一五六坪五六〇
營造物ノ部		
修繕模様替	五件	一九二坪二二〇
増築	一件	二六坪九一〇
取拂	二件	二七坪八六〇
農業	本期ハ一般農作物ノ收穫期ニシテ僅ニ董家溝附近ノ粟包米ニ夜盗虫ノ發生ヲ見シモ既ニ生熟期ニ達セル時ナリシヲ以テ些ノ影響ヲ及ホスナク極メテ良好ニ全管内ヲ通シテ割餘ノ増収ヲ得タリ金州北門外及音蘭店街北ノ水田試作地ハ稍良好ニシテ收穫モ亦可ナリ尚ホ種子ヲ選擇シ栽培ニ改良ヲ加ヘテハ復ニ水稻ヲ得ヘキ見込ナリ	
林業	林業ノ開シテハ本期中特ニ記スル中事項ナシ官有地ノ負債償付出現三件種子下付出現二百二十件トス	
商工業	本期中商工業ノ開シテ特ニ施設シタル事項ナシ一般民間ニ於テモ亦然リ	
商業	銀ノ下落ニ伴ヒ一般沈静ニシテ不振ナリ	

關東都督府

漁業 本期十一月ハ相當ノ漁獲アリ  
シモ内地人ハ結氷ヲ豫期シテ引揚ケシ為  
メ殆ト清國人專有ノ景況ナリシカ十二月  
ハ結氷ノ為メ全然漁獲ナシト云フモ可ナ  
リ

本期ニ於テ許可シタルモノハ釣漁業出願  
六十五件トス

塩業 本期塩業ニ關シ出願シタルモノ  
ハ大日本鹽業株式會社ヨリ塩田部令使  
用願一件 総子富東老灘會王維強外一  
名及達元清外一名ヨリ名義書換各一件  
張見端外五名ヨリ塩田開設願一件ト  
ス

關東都督府

鑛業 管内鑛業ノ許可ヲ受ケタルモノ  
ニシテ本期中作業ニ從事シタルモノナシ  
石材採掘 本期中許可シタルモノ左ノ如  
シ

石材 七件 面積六萬四千六百四十四坪

砂利 八件 面積一萬六百二十坪

違金ニ依リ取消シタルモノ

石材 一件 面積四千五百坪

裁判事務 本期中ニ於ケル裁判事務  
ハ前後著シク繁閑ヲ異ニセリ即チ當初十  
月ノ如キハ事件極メテ稀ナリシカ是レ一  
ハ裁判會實施後日尚ホ淺キト且ツ一般地  
方人民カ農作物ノ收穫ニ多忙ナル時期ニ



際セルトニ基固スルモノ、如シ而シテ十  
 一月ニ至リ事件漸ク増加シ十二月ニ至テ  
 劇増セリ今其事件ノ種別ニ付キ説明セム  
 一第一民事調停事件ハ十月中僅カニ一件  
 ニ過キヤリシカ十一月ニ至リテ頗ル増加  
 シ十二月ニ入リテ又大ニ減少シタリ蓋シ  
 其減少ノ理由ハ元來調停事件ニ就テハ先  
 ソ期日ニ至リ相手方出頭セサルトキハ民  
 事訴訟ニ於ケルカ如ク欠席裁判ヲ為スコ  
 ト能ハサルト又一面双方出頭スルモ當事  
 者タル一方カ相手方ノ要求ニ應セサレハ  
 之ヲ強制スルコトヲ得サルヲ以テ遂ニ不  
 調ニ終ルモノ少カラス寧ロ最初ヨリ本訴  
 ヲ以テ要求スルヲ得策ナリトスル為メ調  
 停事件ハ愛シテ本訴ノ名目ヲ以テ現ル  
 ニ至リシモノト思考セラレ次ニ民事訴訟  
 ハ調停事件ノ減少ト共ニ漸次其数ヲ増加  
 シ十二月ニ至テ四十三件ニ達セリ而シテ  
 其争訴事件ノ種類ハ土地家屋ノ引渡及金  
 貸借最モ多キニ居リ殊ニ土地家屋ニ係ル  
 請求事件ノ如キハ其内容頗ル複雑ニシテ  
 之カ審理判断ニ就テハ勢多クノ日子ト手  
 数トヲ要スルカ故ニ一事件ニ付キ少クト  
 モ二回以上六七回ノ間延ヲ為サ、ルハカ  
 ラス次ニ民事強制執行事件及仮差押仮返  
 分事件ハ訴訟事件ノ増加ニ伴ヒ漸ク其多

東京府警務

キヲ加フルノ状況アリ此他民事雜事件  
 ニ付テモ亦増加ノ傾向ヲ有セサルハナシ  
 唯督使事件ニ限リ極メテ少キハ蓋シ當  
 署管内ニ於ケル民事々件ノ支那人本位  
 ニシテ督使手續ハ元ト支那人ニ適用セ  
 サルカ故ナリ  
 刑事々件ニ就テハ刑法犯トシテ竊盜及  
 賭博アルノミ他ハ何レモ罰則犯ナリト  
 ス爰ニ本期間取扱ヒタル民事々件ノ件  
 數ヲ舉レハ民事訴訟四十三件民事  
 調停二十件執行事件十一件仮差押  
 役處分事件七件督使事件一件民事  
 雜事件十五件計九十七件刑事々件  
 十八件ニシテ總計一百十五件トス  
 警 察 事 項 本 期 十 一 月 以 下 當 署 管  
 内 大 連 灣 外 一 會 大 連 民 政 署 ノ 管 轄 ニ 編 入  
 セラレシ結果柳樹屯大房身南崗嶺華鎮堡  
 ノ四派派出所及同所勤務ノ巡查十名並捕十  
 名ヲ大連民政署ニ轉属セシメタリ  
 司 法 事 項 本 年 ハ 稀 有 ノ 豐 作 ニ シ テ 細  
 民ノ過活容易ナリシト行政區域ノ變更ニ  
 依リ取扱件數ノ減少ヲ見タリ  
 裁 判 會 院 及 正 ノ 結 果 民 事 々 件 關 ス ル 事 件 ハ 着  
 シク減少スルナラント思惟セシニ豫想ニ  
 及シ却テ増加ノ傾向アリシハ一般人民裁  
 判手續料ノ増ニ訴訟提起前免ツ洗滌ヲ出

關東都督府

願シ當事者之ニ應セサルトキ始メテ訴訟  
ニ移ルト一方市況不振ノ結果支拂ノ渋滞  
ニ基因スルモノト思料セラルル其取扱ヒ夕  
ル件数左ノ如シ

	十月	十一月	十二月	計
民事七件	二四	二八	二九	八一
刑事七件	六	五	七	一八
計	三〇	三三	三六	九九

馬賊 十月初旬馬賊王永春一行五六名  
入込ニ来リレモ直ニ警戒ヲ施セシ為メ皆  
退外ニ遁レ去レリ

海賊 結氷前ニ於ケル沿海ハ例年船舶  
ノ往来頻繁ニシテ海賊船ノ横行モ亦後  
甚レヤリレカ本期ニ於テハ此等交通船  
安全ヲ期セシカ為メ警戒船ヲ組織シ間断  
ナク海上ヲ警戒シタルカ為メ些ノ被害ヲ  
見ス極メテ安全ナルヲ得タリ

關東都警府

衛生 本期十月ヨリ十一月ニ亘リ本署直  
轄管内及綴子高菅商店兩出張所管内ノ  
清潔法ヲ實施セリ其成績春期ニ於ケ  
ルヨリモ良好ナリシハ一般人民ノ衛生恩  
惠進歩セシニ因ル又本期ニ於テ種痘ノ接  
種ニ着手セシニ全管内ヲ通シ接種總員四  
万〇四百九十六人ノ内善感者二万〇三百  
七十人不善感者二万百二十六人ニシテ其  
成績頗ル良好ナリキ是レ種痘ノ何タルヲ

解セサリシ支那人ノ漸次其天然痘ニ對ス  
 ル唯一ノ豫防法タルコトヲ知覺シ今ヤ進  
 テ接種スルノ傾向アリシニ由ル  
 管轄區域内一般ノ情况 一般清國人カ本  
 邦政治ノ下ニ生活スル状態ヲ見ルニ彼等  
 ハ清國及露國政治ノ下ニアリシヨリモ日  
 本人ノ公道ニシテ清廉ナルヲ悦ビ永遠  
 ニ其治下ニ屬セシコトヲ希望スルモノ  
 寡カラズ故ニ能ク秋カ法令ヲ遵守シ  
 邦人ト日ニ接近シ相互ノ感情極メテ平  
 總ナリ  
 營業及内地人居住ニ關シテハ柳樹屯外  
 三派出所ノ大連民政署ニ分割セラレタ  
 ル為メ頻ニ營業者及居住者ノ減少ヲ來  
 セリ  
 一般營業ノ状態ハ一般市況ノ不景氣ニ伴  
 ヒ極メテ沈靜ノ下ニ越年スルニ至レリ

東都府